

# 神オケ50年の歩み

昔は人生50年と言われておりましたが、私達神大オーケストラは、今年で、丁度その50年目を迎えました。この記念すべき年の演奏会に当り、皆様に、私達のオーケストラの歴史を簡単にお知らせ致したいと思います。

## ☆ワーグナー・ソサエティ時代

今から50年前の大正4年といえは、第一次世界大戦の最中であったが、神戸市上筒井にある神戸高等商業学校の学生会館で、ピアノやバイオリンを持った数人の学生が合奏を楽しんでいた。その名をワーグナー・ソサエティと称した。50年前の、このワーグナー・ソサエティこそ今日の神戸大学交響楽団の歴史の源なのである。その時のメンバーは、6人のバイオリンにピアノを加えたもので、大正4年12月18日に第9回語学大会のアトラクションとして演奏の機会を得た。この大正4年12月18日こそ神大オケの前身が聴衆の前に最初に姿を現わした記念すべき日なのである。

## ☆フィルハーモニック・ソサエティ時代

それから大正7年にはフィルハーモニック・ソサエティと改称し、発表の機会も年2、3度と増え、曲目の方も段々と面白い曲を取り入れてきた。そして、この時代には（昭和2年7月21日～24日）山陽地方への演奏旅行を行い、数々のエピソードを生みながら、大盛況を拍したと記録されている。この年はオーケストラとしては創立13年目に至り、初めての充実した年であったと言われる。

## ☆神戸商大フィルハーモニック・ソサエティ時代

昭和4年、神戸高等商業学校は神戸商業大学に昇格し、同6年には、我オーケストラが、神戸商大フィルハーモニック・ソサエティとして名乗りをあげ、第1回管弦大演奏会を開いた。爾来、昭和8年7月14日～8月3日の間、満鉄の招へいによる満州への演奏旅行を始めとする様々な活動を行いながら同16年、その名を神戸交響管弦楽団と改める迄に19回の定期演奏会をもった。

## ☆神戸交響管弦楽団時代

その後、同16年6月29日には、新たに神戸交響管弦楽団としての初の演奏会が開かれた。しかし、当時の国内、国際情勢は風雲急を告げ、世界戦争の嵐の中に、我オーケストラは一時活動を停止せざるを得なくなったのである。かくして、大正4年に産声をあげ、神戸商大のみならず、神戸のオーケストラとして、遠く満州にまで、その名を馳せた、神戸商大管弦楽団は再び、目覚める日を夢みつゝ、眠りに入ったのであった。（神戸大学交響楽団記念誌作成委員会編、戦前オーケストラ通史より）

## ●神戸大学交響楽団時代

そして昭和25年……。新制大学発足と共に、一時途絶えた音の流れは神戸大学交響楽団の創立により再び力強く流れはじめた。翌26年には、戦後初の第1回定期演奏会が開かれ、以後、毎年1回ずつの定期演奏会をもち、本日で、第15回目の定演を開くに至ったのです。

## “ 響 友 会 ”

以上、簡単ではありましたが綴って参りました50年の歴史を通して、今日の我オケの基礎を基いて下さった、多く先輩の方々が、今も、私達の活動を見守って下さっております。その先輩の方々によって組織されたのが神戸大学交響楽団後援会で、私達は、これ迄に何かにつけて、色々な援助をいたゞいて参りました。そして、昭和36年に、名称を神戸大学交響楽団響友会と改め現在に至っております。ですから、この響友会の会員は、いわば私達の兄貴や姉貴という事になります。

本日は、十数年いや、それ以上の昔には、若々しい青年であった、また、今でも若いと思っておられる先輩諸氏が、当時を思いおこしながら熱のこもった演奏をして下さる事と思います。どうか皆様、御期待下さい。